



(10) 王子橋 舊橋の橋面を1米上昇せしめ、幅員を増大して6米とす。
舊橋は5.12米であつた。

隧道東口にて220米70、観音峠隧道中央に於て262米90なり。

改良の效果

本工事の竣功により一般交通運輸に著しき利便を興へ、且つ山陰地方及京阪神に莫大の利益を興へたるは識者の認むる處にして工事着手前後の實驗に徴するに自動車所要時間の

短縮は老ノ坂に於て10分、観音峠に於て20分を示す。以て其一斑を知るに足るべく、従つて將來に於ける交通量の増加と利便の増大期して待つべし。

附記：—

観音峠隧道附近の工事狀況に就ては工事畫報昭和九年一月號を参照されたし。(編者)

直木博士歡迎會

滿洲國國道局長直木倫太郎博士は今回同國大陸科學研究院長の職を兼務せらるゝ事になり、滿洲に於ける各種天然資源の開發利用に就て科學的研究をなす爲に、人事其他の問題に關し先般滿洲より久しぶりに上京され、各方面に奔走中であつたが、大體

其要件の目的も達せられたので、日本技術協會主催の下に四月三十日丸ノ内海上ビルの中庭に於て歡迎會を催し、會するもの佐野利器、中川吉造、眞田秀吉、茂庭忠次郎、山口昇、宮本武之輔等の諸博士及鐵道省内務省關係の技術家多數出席して盛會であつた。